



きずな

KI ZUNA

第22号
2011年
秋号

主 な も く じ

- 健康福祉まつり開催のお知らせ ————— ②
- 山武市だからこそ～東北復興支援ボランティア～ ③
- 地域だより 成東地域・山武地域 ————— ④
- 松尾地域・蓮沼地域 ————— ⑤
- 共同募金運動ご協力をお願い ————— ⑥
- ころろ・キラキラ ゴールドクラブ便り ————— ⑦
- 社協事業紹介
- 有料配食サービス事業 ————— ⑧
- 奮闘記～あなたを応援したいから～ ————— ⑨
- インフォメーション ————— ⑩



慣れない『カーリング』にみんなで挑戦!! ～いきいきわくわく教室松尾会場にて～

狙いを定めて「そーれ。まっすぐ行って!」上手いくと、どっと笑いと拍手が巻き起こった。吹き矢のゲームで命中するたびに大歓声。みんな歳を忘れて元気いっぱい。明日への健康と繋がる楽しいひと時でした。

関連記事7ページ



高齢化率 25.3% (前回より0.2%増)

人口動向

市の人口	56,892人	65歳以上	14,439人
男	28,378人	男	6,217人
女	28,514人	女	8,222人

平成23年9月1日現在

『健康と福祉のまちを広げよう!』

～第6回山武市健康福祉まつり～

野外ステージや福祉関係団体等による模擬店のほか、子どもから高齢の方まで誰でも参加できるイベントを盛りだくさん企画しています。皆様お誘い合わせのうえ、ぜひお越しください。

- 日 時** 10月23日(日)(雨天決行)
- 場 所** さんぶの森交流センターあららぎ館
- 問合せ先** 山武市健康福祉まつり実行委員会
(山武市社会福祉協議会)
電話0475(82)7102



昨年の様子



第6回 チャリティーゴルフコンペ 参加者募集



- 開催期日** 平成23年10月27日《木》 雨天決行
 - 会 場** ラフォーレ&松尾ゴルフ倶楽部
午前8時スタート
 - 参加資格** 山武市居住または山武市に勤務する方
 - 募集人員** 120名
 - 費 用** 参加費 3,000円(パーティー代含む)
プレー費11,500円
- 【キャディ・乗用カート・昼食(限定)・1ドリンク付き】
《今回、参加費・プレー費の一部を東日本大震災義援金とさせていただきます。》
- 申込み方法** 社会福祉協議会事務局にある申込書に記入の上
10月14日(金)までに申込みください。
 - 問合せ先** 実行委員会事務局 山武市社会福祉協議会内
電話0475-82-7102 FAX0475-82-7318

一人ひとりが地域の力 ～第6回山武市社会福祉大会～

山武市内の社会福祉の増進に寄与された方の表彰をはじめ、「みんなで助け合い、地域で安心して暮らせるまちづくり」をテーマに小中学生から募集した標語・ポスター・作文の発表を行います。



また、「幸せが幸せを～笑いが笑いを呼ぶ!」をモットーに大活躍中の落語家三遊亭多歌介師匠を招いて、講演を行います。
ぜひ、ご参加ください。(費用無料)

- 日 時** 11月30日(水) 13:30～16:30
- 会 場** 山武市成東文化会館 のぎくプラザホール
- 講 演** 楽しウレシ!介護福祉
～感謝の気持ちから喜びが生まれる～

善意をありがとう

～平成23年6月1日から平成23年8月31日までの受付分～ (順不同・敬称略)



◆お金のご寄附(含む1円玉募金)◆

三者合同山武芸能発表祭 ……30,000円
 會田 トシエ ……18,200円
 我謝 登志子 ……2,310円
 FP プロジェクトチーム(有) ……777円

大木夏祭実行委員会 ……30,000円
 町山 峯雄 ……10,000円

◆自動販売機募金◆

日本ペプシコーラ販売(株) ……1,372円*

*さんぶの森公園に設置されているペプシコーラ自動販売機の販売本数1本つき2円寄附されます。



山武市だからこそ...

～東北復興支援ボランティアバス～



山武市社会福祉協議会では、東日本大震災で被災した沿岸地域の復旧・復興支援ボランティア活動を実施してきましたが、参加・協力者からの「今度は、東北地方の支援も！」との声を受け、山武市との共催により「東北復興支援ボランティアバス」を運行しました。3回にわたる開催に、延べ63名のボランティアが参加しました。

第1回目 思い出の品々に心を込めて

6月25日(土)～27日(月) 福島県南相馬市

18名のボランティアが参加し、原町区で、流出物の洗浄活動を行いました。

写真や賞状、母子手帳など、津波に流され泥だらけになってしまった思い出の品々が、出来る限り元通りの姿になって持ち主の皆さんに届くようにとの願いを込めて、祈るような気持ちでお手入れをさせていただきました。

また、経済復興支援も重要と考え、福島市内の温泉地に宿泊、お土産には旬の“さくらんぼ”を購入する等、風評被害で落ち込んでいる観光の活性化に微力ながら貢献させていただきました。



第2回目 住み慣れた我が家へ

7月23日(土)～25日(月) 福島県南相馬市

19名のボランティアが参加し、前回に続き、原町区を訪問し、今回は個人宅の片づけや泥出し作業を行いました。

一日も早く住み慣れた家で元の生活が送れるようにと、山武市の活動で培った経験を活かし、2軒のお宅でお手伝いをさせていただきました。依頼主の方々から、“あの時”のこと・今のこと・これからのことなどいろいろなお話をお伺いし、一緒に復興に向け頑張りましょう、と共に涙する場面も。現在進行形の困難がずしりと心に伝わりました。

また、南相馬市役所には、山武市から米や水などの支援物資をお届けしました。



第3回目 みんなに笑顔を…“交流イベント”開催

8月19日(金)～21日(日) 宮城県気仙沼市

第3回目は、実活動日が土・日曜日だったこともあり、これまでで最多の26名のボランティアが参加し本吉（もとよし）地区で活動を行いました。

土曜日は、地域で開催される「福祉まつり」のスタッフとして運営に協力、会場設営や会場案内、ゴミの分別など、イベントが全て終了する夜7時過ぎまでスタッフとしてお手伝いをさせていただきました。災害後初めて実施される大きなイベントで、地域の皆さんの復興にかける熱い思いが感じられました。



▲ まつりのサプライズゲストにはBEGINも

日曜日は、山武市ボランティアによる持ち込みでの「交流イベント」を実施しました。地域の皆さんが交流し楽しんでいただく場として、かき氷、ポップコーン、コメ粉麵、焼きとうもろこしの無料配布、スイカ割り、輪投げ、手作りメンコ、ワリバシてっぽうのゲームコーナー、マッサージコーナーを設置しました。あいにくの小雨で、

3時間程度の催しでしたが、親子連れを中心にとくさんの方が訪れてくれました。地域の方々と触れ合い、励まし合えたこと、特に、大きな状況の変化を小さな体で一生懸命受け止めている子どもたちにほんの少しでも笑顔が届けられたことが嬉しい活動でした。



▲ 子どもたちと一緒に工作やゲーム



▲ 山武のコメ粉麵は特に人気でした

また、支援には様々なかたちがあり、これからもまだまだ私たちに出来ることやしなければならぬことがあるのでは、本当の復興・生活再建支援はこれからなんだ、と考えさせられる機会となりました。

今回の経験を活かし、今後も引き続き市内で被災した地域の支援を行いながら、市民の皆さんと共に防災・減災、そして復興活動に取り組んでいきたいと思っております。一緒に、頑張りましょう！また、この活動をご支援くださった多くの方に厚くお礼申し上げます。

交流を楽しむ“南天の会”

南郷地区社協

成東地域

南郷地区社協からはひとり暮らし高齢者、南天の会、日帰り旅行について報告いたします。日帰り旅行については、市社協の補助を受け年2回実施しています。ここ3年はあまり日程がきつくならないよう、房州方面への花摘みと施設での入浴・観劇と定め実施してきました。

2月28日(月)花摘み

富浦町「おおつの里」

参加者(福祉推進員含む)24名

市社協のバスを借りて8時30分に寺川の公民館を出発しました。当初勝浦のビックひな祭りを見る予定でしたが、当日はあいにくの小雨で、安全上取りやめ、カラオケを楽しみながらゆっくりと行くことにしました。ほぼ予定どおり野島崎近くで昼食をとり、一路「おおつの里・花俱樂部」へ向かいました。今年は花が少なく花摘みはできませんでしたが、綺麗な切り花は数多くあり、適当に楽しめました。帰りに道の駅「琵琶俱樂部」でお土産を買い帰路につきました。バスの中は、花の香りでいっぱいになり、おしゃべりとカラオケで楽しい一日でした。



おおつの里で

7月5日(火)観劇・入浴

佐倉湯パラダイス

参加者(福祉推進員含む)24名



南天の会のメンバー

例年ですと5月に実施していますが、3月の大地震の余震が続いていたこともあり、大事をとって7月に行ないました。当日は、9時にバスはほぼ満席で、おしゃべりしながら、入浴を楽しみ、劇を見ながら一日ゆっくり過ごしていただくことが目的。出演は里見たかし劇団で踊りも交えなかなか好評でした。帰りに四街道をまわり買い物をして17時予定通りの帰着でした。

日帰り旅行は、家に閉じこもりがちな生活を離れ、交流を通して一日ゆっくり過ごしてもらうことが一つの目的で、これからもより多くの参加者を募り続けていきたいと思えます。

(福祉推進員 小池 和子)

山武地域

地域一体となって、大木夏祭り

日向西地区社協

西地区活性化事業として本年第14回目を迎えた夏祭り大会が7月30日、山武西小学校運動場で開催されました。

この夏祭りは山武西小学校開校と同時に始められたもので学校の歴史を物語っているようです。地域で多くの夏祭りが廃止される中で数少ない地域行事の一つに挙げられる



夢の共演



おみこしわっしょい!!!

とあります。新しい住民同士のコミュニケーションの場として年々期待が高まり、本年は大会のオープニングとして山武西小学校吹奏楽部(参加7年目)と、初出場の山武南中学校吹奏楽部の共演から始まりました。途中、ゲリラとも思われる降雨に遭遇しましたが、最終の花火大会まで順調に大過なく終了することができました。これでまた地域の絆が一段と増すことは間違いなく、と確信しています。

また、この行事はこの度の東日本大震災の復興も祈願して行われました。



やぐらを囲んで

(福祉推進員 遠藤 直)

松尾地域

お花配りや楽しい会食会

大平地区社協



作業風景

総会で決定された計画により、友愛訪問（地域見守りサービス・サルビアの配布）ふれあいサロン（高富西地区・下之郷、借毛本郷地区）、日帰り会食会（芝山文化会館への演劇鑑賞・太陽の里が実施されています）。

ひとり暮らし高齢者へのサルビアの配布と日帰り会食会について少し詳しく申し上げます。

6月11日（土）下之郷青年館で、渡邊会長のところまでポットに育てられたサルビアを大きなフラワーポットに3株ずつ移植しました。当日は9時作業開始の予定でしたが、雨の降りが激しく3時開始に変更の連絡がありました。そこで3時前に作業場に自転車で向かいました。到着すると、作業は終盤にさしかかっておりましたので泡を食って作業に取り



組みました。それから30分経たない時間で作業は終了しました。担当のフラワーポットをいただき対象者へお届けして作業が無事に終了しました。

7月29日（金）10時下之郷青年館に集まり長生村の太陽の里へ出発しました。30名が参加して日帰り会食会のスタートです。東日本大震災の津波が有料道路のおかげで難を逃れた話を聞き大変驚きました。改めて海側をみると海岸に木々の被害の跡が残っていました。太陽の里へ到着し、私もお風呂に入り、食事をいただきました。おしゃべりをしたり芝居を見たりして過ごす時間はゆっくりと経過していきました。みんな楽しく、大喜びでした。

（福祉推進員 秋庭 春夫）

熱狂的な芸能発表会

山武市ゴールドクラブ連合会蓮沼支部

蓮沼地域

異常気象を思わせる暑さが、夏至を境に一層その厳しさを増す中で、台風6号が洋上を通り過ぎ初秋を感じさせる涼しさとなった7月22日、山武市ゴールドクラブ連合会蓮沼支部の芸能発表会が、蓮沼スポーツクラブラザルおさい館で開催されました。



復興に祈りをこめて



講話があり、夜間にドライバーが気づきやすい反射板が会員に配られ、いよいよ演芸会の開演を迎えました。舞台ではあでやかな舞姿や見事に調和のとれた舞踊、日頃鍛えた自慢の歌声が観衆を魅了しました。出演者は全てが近所のおばさんやおじさん達であることから、熱狂的な声援が飛び交いプロの方たちとは一味違った盛り上がりでした。

出場者の熱演、熱唱が人々に元氣と笑顔を与えた感動の日でした。

川嶋 重雄

山武警察署員による講和





じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします!



～募金をよびかける人も、募金に協力する人も、みんなボランティア…赤い羽根募金は、たくさんのボランティアの人たちが支えています。～

今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まりました。

毎年、みなさま方にはこの運動に際しまして温かいご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

戸別募金・市内各世帯を対象として現在、区長・自治会長を通じてお願いをしておりますのでご理解ご協力をお願いいたします。

法人募金・市内の企業、会社、商店、法人等を対象として、例年ご協力をいただいている法人等へ事前に文書にてご依頼をいたします。

また、新規にご協力してくださる法人等がございましたらご連絡をお待ちしております。

ご協力ありがとうございました

平成22年度 募金実績報告					
		赤い羽根共同募金		歳末たすけあい募金	
戸別募金	件数	5,965,575円	11,891件	2,455,795円	12,279件
法人募金	件数	2,053,000円	451件		
その他	件数	571,535円	街頭・イベント・学校・協力店・ 篤志家・職域・窓口等	218,028円	篤志家・繰越等
総計		8,590,110円		2,673,823円	

共同募金東日本大震災災害義援金(第2回報告:平成23年6月1日～平成23年8月31日までの受付分)

睦岡小学校	15,363円	県立東金高校同窓会松尾支部	50,000円
まつおこども園・大平保育所	60円	下町明老会	4,944円
大木台	100,000円	山武市社会福祉協議会職員	1,793円
足もみどんぐりの会	10,000円	匿名	30,000円
三者合同山武芸能発表祭	10,000円	各窓口設置募金箱	54,669円

事務局 千葉県共同募金会 山武市支会 (山武市社会福祉協議会内) ☎0475-82-7102

東日本大震災災害寄附金(山武市内指定)・災害見舞金配布報告

この度の東日本大震災により被災されました皆様には、心からお見舞い申し上げます。

今回の震災により、市内外の多くの方々から寄附金が寄せられました。この寄附金と社会福祉協議会災害援護基金の一部とくずし金と合わせ、6月20日から8月24日までの間に地区社協福祉推進員と本協議会職員で被災された方のお宅を訪問し、見舞金をお届けいたしました。

あたたかい、お気持ちありがとうございました

～東日本大震災災害寄附金～

第2次報告 平成23年6月1日～平成23年8月31日までの受付分
(順不同・敬称略)

小崎 千恵子	6,500円
鴨川市東条地区社会福祉協議会	18,070円
スイカまつり設置募金箱	2,171円
山武「健康とふくしの会」	7,592円
山武市産業まつり実行委員会	46,322円
山武市農業研究会	92,207円
山武市廃プラスチック対策協議会	52,000円
富士見台自治会 会長 開発哲夫	16,385円
匿名	50,000円

前回までの寄附金: 1,301,442円
第2次寄附金: 291,247円

寄附金総額: 1,592,689円

みなさまのお気持ちをお届けいたしました

～災害見舞金配布～

前回報告分内訳

全 壊	15件	225,000円
半 壊	147件	1,176,000円
弔慰金	1件	20,000円
見舞金計		1,421,000円

第2次配布内訳

全 壊	11件	165,000円
半 壊	86件	688,000円
見舞金計		853,000円

前回までの配布額: 1,421,000円
第2次配布額: 853,000円

見舞金配布総額: 2,274,000円

こんにちは! 松尾福祉作業所です

残暑の厳しい日が続いていますが、利用者の皆さんは暑さに負けず、毎日元気に作業に取り組んでいます。

平成23年5月20日(金)に所外学習の一環として、成田ゆめ牧場に行ってきました。天気もよく絶好のお出掛け日和のなか、乳牛の乳搾りをしたり子ヤギやウサギなど可愛い小動物たちと触れ合い、搾りたての牛乳で作ったアイスクリームを食べたりと心身共に癒された一日を過ごしました。



可愛い子ヤギと触れ合い
心が癒される～



全員で



さすが牧場の
アイスクリーム
濃厚でおいしい

ランチタイム
自然の中で
おいしさ2倍



自主製作品(リサイクル椅子・巾着・ティッシュケース・布ぞうり)を下記にて販売中
ぜひ、ご利用ください。

オライはすぬま・社協松尾連絡所・IT保健福祉センター・松尾作業所

心も体も健康に

いきいきわくわく教室

市ゴールドクラブ連合会のいきいきわくわく教室運営部(百岡正八部会長)の第2回目の同教室が松尾支部地域を対象に8月8日、松尾ふれあい館で開催され、110余人が参加しました。内容は、講話・健康教室・趣味講座・軽スポーツと盛りだくさん。鈴木幹男松尾支部長のあいさつで始まり、最初に高根病院松澤邦夫先生による「高齢者に起こりやすい骨粗鬆症及びその予防について」と題してご講話いただきました。

“骨粗鬆症は加齢に伴い骨量が減り骨が脆くなり骨折の危険性が高くなる状態で、単なる老化現象ではない。また、自覚症状も現れにくいので定期的な検診を受け早期発見、予防が大事。また、正しい食生活、適度な運動、軽い日光浴等も有効である”等、スライド写真を交え詳しく説明してくださいました。皆真剣に聞き入り質疑応答もありました。

その後、市保健師による健康講座があり減塩のポイントをいくつかお話されました。

午後は趣味講座としてコーラスを行い友国氏、横田氏の指導で、ふるさと・茶摘み・もじみ等を元気よく歌いました。また保健師による血圧測定を行われ、最後は県老連音頭で楽しく輪になって踊り、充実した1日となりました。

(女性活動部会 秋葉 昭子)

こころ・きらきら ゴールドクラブ便り



松澤先生による講和



みなさん真剣です

事業紹介 ～こんな活動しています～ No.9



こんにちは！サンタくんが秋休み中なので、代わってぼくが担当します。猛暑つづきの夏も過ぎ、ようやく秋の気配が感じられる好季節となりましたね。秋といえば、“食欲の秋”今回は、高齢者の食生活の確保・改善を通して健康保持を図り、在宅生活を支える事業、「有料配食サービス事業」をご紹介します。

有料配食サービス事業

対象者：70歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯
心身障がい者で食事の確保が困難な方
利用料：1食あたり 500円
(※住民税非課税者については減免制度有)
問合せ：山武市社会福祉協議会 在宅福祉推進係
0475(80)0330
※申請にあたっては、民生委員さんにご協力を
いただいています。

地域別状況： (H23.8月現在)

地域名	実施曜日・配達時間	契約業者	利用者数(人)
成東	火・木(16時～17時)	直屋魚店	21
山武	月・木(11時～12時)	明朗塾	7
蓮沼	火・金(16時～17時)	直屋魚店	4
松尾※	火・木(16時～17時)	よもぎ館 竹田	7

※配達ボランティアさんがしています。



今回、直屋さんと一緒にぼくも、蓮沼地区の斎藤さんのお宅を訪ねてみました。

斎藤さん、お弁当はいかがですか？

配食サービスが始まった当初から利用しており、週2回の手作り弁当を楽しみにしています。配達の方には、いつも明るく声をかけていただいて、嬉しく思っています。
これからも栄養のバランスの良い手作り弁当と、配達の方との会話を楽しみにしています。



契約業者の直屋さんにも聞いてみました。
お弁当を届けていてどうですか？

成東地域と蓮沼地域の25件を担当しています。
ひとり暮らしの方がほとんどで、配達を心待ちにしてくれているのが嬉しいです。
安否確認も兼ねているので、元気な笑顔にお会いできることが何よりです。
これからも利用している方々の食生活のお役に立てるよう頑張っていきたいと思えます。



へえ～。事前に社協の窓口で配食サービスのチケットを購入して、お弁当と引き換えに1枚渡しているんだね。その都度お金を用意するのは大変だもんね。そうそう「無くしちゃったらどうしよう」って人も安心。社協で預かってくれるんだって。おいしそうなお弁当、ぼくもお腹が空いてきちゃった。



奮闘記 ～あなたを応援したいから～No.2



奮闘とは、“力いっぱい努力すること!”。『きずなの編集委員8名』が、地域に密着した、さまざまな活動をされている皆さんの“影の力”を紹介します。今回は、山武市成東富士見台自治会長、開発哲夫さんです。

山武市成東富士見台
自治会長 開発 哲夫

富士見台は、旧成東町時代の昭和55年頃に宅地として造成され、約400区画を超える分譲地に200戸が戸建ての住まいを新築して、より良い住環境を求めて日常生活を送っています。

今日では、自治会、汚水処理施設管理組合、老人クラブ、子ども会、社会福祉活動、各趣味サークル活動が自主運営されています。

とりわけ、自治会活動は、昭和62年に結成され、今年は25年を迎える大きな節目の年になりました。自治会活動を指導、支援してこられた、先輩、会員各位に支えられて、自治会長の任を担当することになりました。自治会の最大の親睦・相互交流の行事は全会員上げての「夏祭り」の開催でした。実行運営委員会で協議



を重ねて、当日(8月21日)を楽しみにしていましたが、天候のいたずらで、屋内に急きょ切り替え、行事も若干縮小しましたが、初めての雨天夏祭りの成功に関係者で喜んだ次第でした。

今回は、下町総合区長様、地区社協会長様、山武ゴールドクラブ連合会成東支部長様のご臨席をいただくとともに、「成東おどりの会」のご協力を賜り「盆踊り」が参加者を盛り上げました。会員個々の交流を越えて、富士見台と他の地域との組織・団体交流の契機になったと思います。今後も親睦・交流の輪を拡大・深化したいです。

会長 開発哲夫様 ご苦労様でした。(宮野)

協力会員募集中!!

福祉輸送サービス

住民参加型在宅福祉(家事援助)サービス

市民の皆さんの参加と協力(相互扶助)による会員制の有償サービス

①福祉輸送サービス

主な内容:利用会員の送迎(車輛の運転及び乗降介助)

条件等:福祉に熱意と理解がある方で(70歳くらいまで)本会の指定する安全運転講習を受講できる方

②住民参加型在宅福祉(家事援助)サービス

主な内容:利用会員の話し相手・外出付き添い、買物等の代行・住居の掃除等

条件等:福祉に熱意と理解がある方で特に資格は必要ありません。(年齢・性別不問)

両サービス共通

年会費:1ヶ月1000円(登録月から3月分までいただきます)

配分金:1時間700円以後30分ごとに350円

1kmあたり25円(但し、利用者宅～〇〇～利用者宅)

関心のある方、ご協力いただける方は、下記へご連絡ください!!!

山武市社会福祉協議会
在宅福祉推進係 ☎0475-80-0330

お買物や

お住まいのことで お困りの方へ

山武市商工会員の有志で組織された「お買物たすけ隊」(山武市商工会員のお店)があなたの生活を応援します。

ご注文をいただければ、配達料無料で商品やサービスの提供を行います。



詳しくは...

山武市社会福祉協議会
ボランティア・市民活動センター
電話:0475-89-2121へ

山武市社会福祉協議会
イメージキャラクター

want **愛称大募集!**

このたび、山武市社協イメージキャラクターが誕生しました。
山武→さんむ→SUN(太陽)と、太陽をイメージしてつくられました。
太陽のように多くの人々を照らし、温かい心を届けられるようにと願いが込められています。

このキャラクターにぴったりの愛称を募集しますのでどしどしご応募ください。
採用された方には、オリジナルキャラクターグッズを差し上げます。



- 応募資格** 山武市在住の方
- 応募期日** 10月31日(月)
当日消印及び送信有効
- 応募方法** ①愛称②住所③氏名④年齢
⑤連絡先を明記の上、官製ハガキまたはEメール、ファックスで下記に応募して下さい。

応募先 〒289-1306
山武市白幡1627
山武市社会福祉協議会
イメージキャラクター
愛称募集係

ほくに、名前をつけてね。

キャラクターについている胸の青いマークは、社会福祉協議会のシンボルマークです。(全国共通)

社会福祉および、社会福祉協議会の「社」の文字を图案化し、「手をとって、明るい幸せな社会を建設する姿を表現しています。昭和47年、全国社会福祉協議会20周年を記念して、公募によりデザインが選ばれ制定されました。

FAX 0475-82-7318
Eメール
sammushakyo@etude.ocn.ne.jp

※ 結果は厳正な審査の後、ホームページ等で発表いたします。

社協イベントスケジュール

月	日	行事名
10月	11	おとこの料理教室 (成東)
	14	地域みまもりサービス (山武)
	18	地域みまもりサービス (成東)
	19	おとこの料理教室 (松尾)
	20	おとこの料理教室 (蓮沼)
	25	おとこの料理教室 (山武)
11月	26	地域みまもりサービス (松尾)
	8	おとこの料理教室 (成東)
	11	地域みまもりサービス (山武)
	15	地域みまもりサービス (成東)
	16	おとこの料理教室 (松尾)
	17	おとこの料理教室 (蓮沼)
12月	22	おとこの料理教室 (山武)
	24	地域みまもりサービス (松尾)
	9	地域みまもりサービス (山武)
	13	おとこの料理教室 (成東)
	15	おとこの料理教室 (蓮沼)
	20	地域みまもりサービス (成東)
12月	24	おとこの料理教室 (蓮沼)
	28	地域みまもりサービス (松尾)

心配ごと相談所開設日程

一般相談 「心の中の心配ごと」何でも相談してください。

●開設時間/午後1時30分~午後4時30分
(予約は必要ありません。受付は4時までです。)

場所	第1火曜日	第2火曜日	第3火曜日	第4火曜日
実施月	山武会場	成東会場	松尾会場 山武会場	蓮沼会場
10月	4日	11日	18日	25日
11月	1日	8日	15日	22日
12月	6日	13日	20日	27日

弁護士相談 法律的な悩みは、こちらで相談してください。

●開設時間/午後1時30分~午後4時30分
(予約が必要です。)

場所	第1水曜日	第2水曜日	第3水曜日	第4水曜日
実施月	蓮沼会場	山武会場	成東会場	松尾会場
10月	5日	12日	19日	26日
11月	2日	9日	16日	30日
12月	7日	14日	21日	28日

開設場所 成東会場：成東老人福祉センター 松尾会場：松尾ふれあい館
山武会場：山武福祉センター 蓮沼会場：蓮沼中央会館

予約
問合せ先 山武市社会福祉協議会
☎0475(82)7102

あ
と
が
き

真っ青な空に柿がたわわに実り、農作物の収穫の秋、そして芸術の秋、スポーツの秋、例年なら心弾む季節です。しかし今年は、3・11の大震災、津波、放射能汚染などのために農業、漁業、酪農で深刻な状況が続いています。

こんな時、私たちができることは何でしょうか？ひとりの力は小さくても、支えあふ心、思いやりの心が困難を乗り越える力になり、地域の「福祉の力」の重要さが、ますます見直されています。

今年は、特にボランティア活動が目立され、若い方達を含めて初めてボランティアを体験した人が増えたのではないのでしょうか。

先哲の言葉に、「人のために火をともしば・我が前あきらかなるごとし」とあります。

「困っている人のために少しでも役に立ちたい」という心のきずなを大切に広げながら、住みやすい地域づくりに取り組んでいきたいと思ひます。(佐々木)

社会福祉法人 山武市社会福祉協議会
〒289-1306 山武市白幡1627(成東老人センター内)
電話:0475(82)7102 FAX:0475(82)7318
Eメール:sammushakyo@etude.ocn.ne.jp
ホームページアドレス:http://sammushakyo.sakura.ne.jp



山武市社会福祉協議会は、この冊子の印刷プロセスで使用する7.01kgのアルミ板をリユースして印刷する事で、従来の印刷と比較した場合、電力量110.96kWhを削減しました。
山武市社会福祉協議会は、MCPによる印刷を通じて、インドネシア・バリ州の森林再生事業(国立公園内の植樹3,000本)に参加しています。

当別冊は株式会社日本共済グループが、印刷・加工・配送・販売・公正に審査・確認してなされたもので、

